

千葉商科大学が「統合報告書2021」を発行

千葉商科大学(学長:原科幸彦)は、学生・保護者、地域社会など全てのステークホルダーを対象としたコミュニケーションツールとして、本学初となる「千葉商科大学統合報告書 2021」を発行し、本学公式 Web サイトにて公開しました。

<統合報告書 Webbook>

<https://www.cuc.ac.jp/about/cuc/activity/integratedreport/index.html>



本報告書では、国際統合報告評議会(IIRC)の国際フレームワークを参考にしつつ、本学の建学の精神と教育理念のもと、本学の創立 100 周年に向けた将来構想「CUCVision100」に基づき、教育・研究に取り組み、地域社会、国際社会と共創し、社会に価値を創造するプロセスとその実績を掲載しています。

本学の特色や強み・ビジョン・取り組み等を、財務情報と非財務情報の観点で整理し、あらゆるステークホルダーのみなさまに、よりわかりやすくご理解いただけるようにまとめています。

今後も本学では、教育・研究活動を通して社会課題解決に取り組むとともに、ステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを強化し、本学のさらなる社会的価値向上に努めていきます。

■大学における統合報告書について

2017 年頃から海外大学で発行が広まり、2018 年度に東京大学が国内で初めて統合報告書を発行して以来、2019 年度 11 校*、2020 年度 16 校*と国立大学法人において発行の動きが加速している。私立大学で発行している例はまだ少ない(本学調べ)。

※出典:「先端教育」2021 年 5 月号 国立大学法人の統合報告書の進化と課題 「価値」をどう伝えるのか

■「千葉商科大学統合報告書 2021」概要

名称	千葉商科大学統合報告書 2021
発行	2021 年 8 月(報告対象期間:2019 年度~2020 年度)
主な コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・トップメッセージ ・千葉商科大学の価値創造プロセス ・特集(新型コロナウイルス感染症に対する取り組み、自然エネルギー100%大学への挑戦、千葉商科大学における SDGs 憲章とそれに即した体系・取り組み、学長プロジェクトによる持続可能な社会づくり) ・建学の精神と教育理念 ・千葉商科大学の歴史 ・活動実績(教育、地域・社会貢献、大学院、研究、大学から社会への接続、高大連携) ・数字で見る千葉商科大学 ・ガバナンス ・財務情報
制作	千葉商科大学統合報告書プロジェクト ※事務局の若手職員によるプロジェクトチームにより制作。

【本件に関するお問い合わせ先】 千葉商科大学 戦略広報室(学校法人千葉学園 経営企画部)
 TEL: 047-373-9968 / E-mail: p-info@cuc.ac.jp